

ドライバーのマナーについて

ドライバーとしてのマナーを記載しますので理解されたうえで安全に走行して頂きますようお願いいたします。

スポーツマンとしての心得

カート競技はスポーツでありカートコースはスポーツを行なう場である。ドライバーは常にスポーツマンらしい言動とマナーを心得なければならない。

① ルールの厳守

スポーツにはルールがあり、ルールは公平、安全、秩序の3本柱のもと制定されている。ドライバーはルールを理解しかつこれを守る気持ちを第一に持っていなくてはならない。また規則書に記載していない事なら何をしても良いということではなく、スポーツマン精神に基づいたルールの精神を侵してはならない。

ルールには最小限に守らなければならない事が決められているに過ぎない。

② 安全の徹底

モータースポーツはスピードを競うものである以上、常に危険が伴う。

事故を起こすということは最も不幸な事で、コース、ドライバーにとっても後味の悪いものである。一人一人がルールを守り、マナーを高めて決して事故を発生させないように安全に対する意識を持たなければならない。

③ マナーある態度

スポーツは遊びが発展したものである。遊びとは楽しいものであるうえで成立するものであり、楽しくないものは遊びではない。カートスポーツの場を楽しむものにする為には一人一人の常識ある態度がなければならない。同じ楽しみを持った仲間としてその輪を乱すような言動や態度は慎みその輪を広げる気持ちを持つこと。

④ コースでのマナー

- 1, 必ず安全な服装で走行しなければならない。(長袖・長ズボン・運動靴)
- 2, コース上では常に周りに注意し蛇行左向など無謀な走行をしてはならない。
(他人に迷惑をかける行為)
- 3, 故意にカートをぶついたり、他車を押し出したりしてはならない。
- 4, もし万が一、不慮の接触などで他車とぶつかってしまった場合はその場で手を上げ謝罪に意思を示すこと。
- 5, コース管理者(オフィシャル)の指示に従い、進行に協力すること。
- 6, 自己と他人の安全に心掛ける。
- 7, 各自で使用したパドックは綺麗にし、施設内に持ち込んだゴミは各自で持ち帰る。

⑤ 事故の責任

各ドライバーは走行中における危険性を承知で走行することが前提です。レースやその他走行中の事故による傷害や車両の破損はその原因に如何にかかわらず全て本人の責任となり、他のドライバーやコースに何ら責任追及や損害賠償の請求はできない。